

明治十三年の御巡幸

明治十三年六月、畏くも 明治天皇陛下には本縣及三重縣より西京府迄 御巡幸被仰出同月十六日宮城御發輦、神奈川縣御通過、十七日日本縣に入御あり國境境川を跨入させられ、上野原町(當時上野原村)東端諏訪舊番所山内氏(現山内四郎)宅に御休憩、御衣替あり、同日午後五時同町に鶴駕を駐めさせ、御行在所(加藤景明宅)に入らせ給ふ。

十八日午前七時、御發輦あらせられ鶴川(大鶴村)、野田尻(甲東村)各宿驛御通過、犬目宿(大目村)、笹屋(上條浦三郎宅)に御休憩あり、山谷峠を経て同十一時四十分鳥澤宿(富濱村)に御着輦、同宿しま屋(今の井上章方)にて御晝餐遊ばされ、午後零時半猿橋驛(大原村)に向はせられ大月驛(廣里村)御通過、花咲宿(同村)星野氏(現星野喜照)宅にて御休憩、それより初狩村本陣小林宗義(現小林德平)宅へ御少休あらせられ同日日暮笹子村黒野田に御着輦、行在所(天野昇平宅)に入らせらる。

十九日朝、黒野田驛御發輦笹子峠の嶮を攀らせ給ひ、鶴駕肅々駒飼驛(東八代郡)に赴かせ給ふ。

郡下沿道の各村にては老幼男女一定の場所に整列し、嚴肅に奉拜し尙驛遞其他の各御用掛は御用狀並に各驛人馬の繼立等に励め何れも萬遺漏なきを期したり。

其間、親しく民間の疾苦を問はせ給ひ、八十歳以上の者に養老の典を擧げさせられ、忠孝節義の輩を賞せられ、且古社寺に金圓を賜はりたり。

左に、御宿制、人速繼立並驛遞に關する本縣驛遞御掛よりの張紙等を記す。

【上野原村御宿制並人馬繼立】

伏見三品御宮、三條太政大臣其他各御宿制左の如し。

御宿制 (上野原村)

番 號	官 名	宿 所
第一號 甲	三條太政大臣、太政官御用掛神保榎、川瀬權少警部、從者五、少者五、夫卒一、巡查一二	野口久右衛門
第一號 乙	伏見三品宮、淺田宮内省御用掛、家臣一、家丁三、家從二	嶋崎坦齋
第二號	寺嶋參議、高橋文部屬、關谷警部補、從者一、巡查六、車夫二	水越周兵衛
第三號	伊藤參議、荒木權少警部、從者一、巡查六、車夫二	水越周兵衛
第三號	山田參議、岡太政官一等屬、突戸開拓七等屬、安藤警部補、從者二、車夫一、巡查六	水越周兵衛
第四號	佐久間内閣書記官、伊藤太政官書記、井手太政官書記四等屬、谷太政官書記六等屬、木曾太政官書記九等屬、杉一等出仕、鈴木一等出仕、寺内二等出仕、車夫八	白木作一郎
第五號	櫻井内務權大書記官、中村内務屬、後藤内務屬、山田内務省雇、從者一	佐々木晋
第六號	萩原驛遞屬、松浦驛遞屬、大野驛遞屬、秋岡驛遞局官、谷村宮内屬、壁宮内省出仕	水越治三郎
第七號	石井中警視、三間少警視、大島一等警視屬、齋藤五等警視屬、川田七等警視屬、高橋、羽田警視補、警衛長馬士二、車夫二	小根村米吉
第八號	大谷大藏書記官、高橋大藏省屬、篠崎、桑原大藏省屬、岡本大藏省出仕、鑑定三、車夫三、小者一	清水源藏
第九號	三浦陸軍中將、岡本陸軍大佐、岡崎大尉、長堀曹長、從者二、馬丁三、馬三	上原四郎左衛門
第一〇號 甲	大迫陸軍大佐、九里、町田、松永各大尉、野木、見玉、山本、福崎各中尉	富田儀平
第一〇號 乙	内山、尾上、志道各少尉、伊藤曹長、馬丁一	富田儀平
第一〇號ノ内	山岡中尉、廣田軍醫、桑島馬醫、馬士三、馬三	富田儀平
第一一號	馬丁一四 騎兵下士以下四十六名、馬三十九疋	保福寺
		小佐野照胤
		中村三右衛門
		中村三右衛門
		馬三
		馬二
		馬一
		如野元吉

加藤 景明宅

第一五號	麻布、高木宮内屬、深山、大川宮内省出仕、卒二、車夫五	武藤 金藏
第一六號甲	丸岡式部助、小西、藏内掌典、杏、淺倉、杉田、小谷各式部寮出仕、車夫	上原 清兵衛
第一六號乙	朱田侍從長、北條、富小路、東園、萩各侍從、平尾出、仕卒一	上原 清兵衛
第一七號	山口侍從長、堀川、西田辻、片岡、藤湯谷侍從、廣幡宮内出仕、卒一	富田 政武
第一八號	伊藤、岩佐各侍醫、從者二、醫員四、仕人三、車夫一	大神田 小兵衛
第一九號	内膳課松井、音川、樺嶋各屬、雇六、夫卒二、料理屬二、車夫一	細田 茂太郎
第二〇號	調度課菅野、田村、永田各屬、出仕一、夫卒五	青木 七郎
第二一號甲	内匠課列任官三、職工八、夫卒一	上原 清兵衛
第二一號乙	内廷課小笠原屬、雜掌六	上原 清兵衛
第二一號丙	内廷課津田宮内屬、雜掌六、夫卒一	小俣 幸兵衛
第二二號	淵川宮内屬、出仕一、仕人一九、夫卒一	佐野 林七
第二三號	内廷課大岡屬、仕人一五	佐藤 新左衛門
第二四號甲	御厩課列任官馭者四、出仕二、夫卒一、磨方六	加藤 勇兵衛
第二四號乙	御厩課川上屬、鈴木、河北各御厩課屬、出仕二、雇一、車夫二、卒一	奈良 泰藏
號外一	御厩課今村雇、馬丁三三、車夫一	市川 新甫
號外二	池原文學掛、出仕一、車夫二	富田 嘉兵衛
號外三	印刷局馬屋原、福原各技生、職工一	清水 覺左衛門
號外四	野村神奈川縣官員外供奉	奈良 千松
號外五	藤村本縣御用掛、外警部、巡查	富田 彌惣次
編修官		共興社
假電信局		武井 米吉

人馬御繼立

一、賃人足 七十一人 (富濱村迄) 嶋田村

但明宿駕籠 十挺持

蒲團 十枚

桐油 十枚

一、人足 三十人 (同上) 巖村

但明宿駕籠 十挺持

蒲團 三十枚

桐油 三十枚

一、人足 二十八人 (同上) 大鶴村

但明宿駕籠 二十八挺持

蒲團 二十八枚

桐油 二十八枚

一、人足 九人 大鶴村

但明宿駕籠 九挺持

一、人足 七人 上野原村

但明宿駕籠 七挺持

蒲團桐油各 七枚

一、甲府本廳への御用狀 二 封

(備考) 本縣驛遞掛より發送の分、上野原村御用係加藤喜一(月長)、細田昌信、平子明誠、水越八郎取扱急飛脚を以て繼立

一、御書付 三 封

(備考) 本縣驛遞掛より宮濱、甲東、大目村への分、取扱者同上急飛脚にて繼立

一、御用狀 一 封

(備考) 本縣驛遞掛より郡役所への分、繼立同上

一、人 足 六 人 上野原村

但 駕籠長持二掉、上野原村より猿橋驛へ繼立

一、御書付 二 封

(備考) 本縣驛遞掛より桐原村及梁川村への分繼立同前

尙、坂井電信御掛、青木神奈川縣御用掛、並津久井郡古野驛等よりの照會各種其他御用、沿道各宿驛にて恙なく御

繼立を了せり。

【黒野田驛御宿割】